

第8回川口市戸塚環境センター施設整備基本構想・基本計画審議会 議事概要

■開催日時

平成29年10月12日（木） 13時30分から15時30分まで

■開催場所

戸塚環境センター2階 研修室

■出席者

1 委員

（1）市民

谷田部千春委員、小坂久仁子委員

（2）民間団体から選出された者

富田龍一郎委員、稲垣寛行委員、関延子委員、勝山健治委員、中山康委員

（3）知識経験者

稲川和成委員、幡野茂委員、板橋博美委員

（4）学識経験者

濱田雅巳会長、橋詰博樹副会長

※欠席者

石川義明委員、細野博隆委員、木村俊夫委員

2 事務局

環境部長、廃棄物対策課長、環境施設課長他7名、戸塚環境センター所長他1名、
公益社団法人全国都市清掃会議1名、株式会社エックス都市研究所3名

■公開非公開の別

公開

■傍聴者の数

9名

■次第

1 開会

2 議事

（1） 環境保全計画について

（2） 余熱利用計画について

(3) 施設計画等について

3 閉会

■会議資料

- 資料1 環境保全計画（案）
- 資料2 余熱利用計画（案）
- 資料3 施設計画（案）
- 資料4 解体計画（案）及び埋設廃棄物対策（案）
- 追加資料1 戸塚環境センター施設整備基本計画の構成（案）
- 追加資料2 焼却処理方式の比較結果

■審議経過

別紙のとおり

別 紙

審議経過

1 開会（１３時３０分）

2 議事

【議 長】

今回の議事録の署名は、谷田部委員と稲川委員にお願いする。

（１）環境保全計画について

【委 員】

騒音・振動の規制基準では、作業禁止時間を午後７時から午前７時とされているとのことだが、市が通常の工事を行う場合、作業時間は何時から何時までと定めているのか。

【事務局】

大きな騒音や振動が生じる作業については、午前８時半から午後５時が通常考え得る作業時間かと思うが、周辺の方と協議のうえ決めさせていただく。

【委 員】

投光器による光害対策は考えているか。

【事務局】

投光器の選定や取り付け位置等を適切に運用することが重要と考えている。周辺にご迷惑をお掛けしないよう対処していきたい。

【委 員】

騒音、振動、悪臭に関して、屋内の出入口ではどのような対策を行うのか。

【事務局】

詳細は、発注する前の仕様書等で制約を設けていくが、エアカーテン等を設けるなどの対策を行う。騒音の対策として、可能な限り敷地境界から遠ざけることが第一と考えている。環境影響評価でも対策を含め検討する。

【委 員】

公害防止基準と環境保全対策の順番を合わせ、排ガス対策も記載したほうが良い。

【事務局】

修正する。

(2) 余熱利用計画について

【委 員】

周辺住民から余熱利用施設としてプールや温浴施設を整備してほしいとの声が多く挙がっているとのことであったが、市ではサンアール朝日と同程度の規模の施設を整備する考えなのか。説明できる範囲で結構なので、現段階の考えを聞かせてもらいたい。

【事務局】

敷地の空きスペースや供給可能な熱量を再検討した後、周辺住民の声をもう一度確認し、仕様書を作成する段階で決定する予定である。

【委 員】

防災対策についても配慮した余熱利用計画を検討してはどうか。

【事務局】

戸塚環境センターを避難所に指定することはないが、電力や給湯などの利用を想定しながら仕様を詰めたい。

(3) 施設計画等について

【委 員】

避難所にはならないとあったが、消防や自衛隊の救出活動拠点とするなどの考えはあるか。

【事務局】

災害時には、物資・備品等の備蓄拠点や風呂の提供、携帯等の充電等といったことに対応できる施設として運用したいと考えている。

【議 長】

綾瀬川の氾濫時想定浸水区域の浸水レベルはどれくらいか。

【事務局】

2 m未満である。

【委 員】

軟弱地盤であると思うが、岩盤まで何メートルか。

【事務局】

5 2 mである。

【委 員】

ストーカ方式の焼却炉は、ダイオキシン類の飛散流出等の事故は起きていないのか。

【事務局】

そのような事故は特に聞いたことがない。

【委 員】

どこが落札しても安全性に問題はないということによいか。

【事務局】

安全対策は十分確認したうえで、業者選定を行っていく。

【議 長】

液状化対策は記載が必要ではないか。

【事務局】

検討し記載する。

【議 長】

記載してある設備から絞り込めば、公害防止基準や性能保証を満足できると理解してよいか。

【事務局】

そのように考えている。

【委 員】

ごみが埋まっていたとのことだが、有害物質は含まれていないのか。
含まれていた場合、どのような施工方法を考えているのか。

【事務局】

鉛等の物質が確認されている。遮水する場合の施工方法の例を示しているが、掘り起こしたものは適正に処分する。施工方法は今後検討していく。

【委 員】

示されている4つの工法から、今回選定を行うのか。

【議 長】

今後、市が施工範囲や費用対効果を検討し選定するものと考えてるがどうか。

【事務局】

そのとおり。

【委 員】

どこの自治体がどのような対策を行ったのか事例を示して欲しい。

【事務局】

後ほど提示させていただく。

【委 員】

工法についてのイメージ図を記載して欲しい。

【事務局】

そのようにする。

【委 員】

記載されている施工方法で基準値をクリアできるか。

【事務局】

基準値を満たすことが目的ではなく、外部へ流出することがないようにするための工法である。

【委 員】

焼却炉の解体業者はどのように選定するのか。

【事務局】

ダイオキシン類の曝露防止対策要綱等を踏まえて準備を進め、安全管理が徹底された業者を選定したいと考えている。

【委 員】

戸塚環境センターでアスベストは使われていないのか。

【事務局】

調査の結果、把握できたアスベストはすでに除去済みである。しかし、想定外の曝露を防ぐため、解体工事は慎重に進める。

【委 員】

埋設廃棄物の調査は土壤汚染対策法に基づいて行ったのか。

【事務局】

旧処分場ではあるが、周辺への影響を把握するため、土壤汚染対策法に基づく基準での測定も行った。

【委 員】

土壤汚染対策法が適用される場合、ガイドラインに定められた調査に時間を要する。整備スケジュールへの影響はないのか。

【事務局】

旧処分場であるため、土壤汚染対策法ではなく、廃棄物処理法が適用されるものと考えている。

【委 員】

いずれにしても環境対策は必要になるだろう。

【事務局】

対策方法については、今後検討する。

3 閉会（１５時３０分）

会議の概要については、以上のとおりです。

平成29年11月22日

川口市戸塚環境センター施設整備基本構想・基本計画審議会

会 長(濱田会長署名).....

委 員(谷田部委員署名).....

委 員(稲川委員署名).....